

報道関係者各位

「観桜の夕べ」は中止となりますが、今年の花見は「オフピーク」が鍵！？ 今年の三溪園は新企画で混雑を避けた桜観賞を提供します

2021年3月27日（土）～4月4日（日）



横浜市が誇る名勝庭園「三溪園」（所在地：横浜市中区）では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年開催していた夜間開園によるライトアップ『観桜の夕べ』の開催を、昨年に引き続き今年も中止します。一方で、2021年3月27日（土）から4月4日（日）までの9日間、本年だけの桜観賞プログラムを開催します。開園前にひと足早く入園できるチケットの販売や、閉園時間の延長、平日だけのカフェ企画をおこなうほか、万全の感染防止策を講じることで、ピークタイムを避けた桜観賞をご提供します。

企画開催の想い

「観桜の夕べ」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年に引き続き今年も中止となりました。例年多くのお客様に夜桜を楽しんでいただいていたのですが、感染対策が困難であることから苦渋の決断となりました。しかしながら、毎年この時期は4万人ものお客様に来園いただき、多くのお客様が三溪園の桜を楽しみにしてくださっていることから、来園いただく皆様に安全・安心で心休まるお花見を楽しんでいただきたいとスタッフ一同で熟慮しました。

三溪園は東京ドーム4個分の広大な敷地です。広々とした屋外空間で密を避け、写真撮影やお弁当を食べるなど、ゆったりとお楽しみいただけます。また、曜日や時間帯のピークを避けるだけでなく、満開のピークを避けて桜の蕾や散り際の魅力を発見するのもおすすめです。

三溪園では、今年こそお客様に、日本の春の代名詞である「桜」を、名勝である横浜の日本庭園でご覧いただき、新年度のスタートを晴れやかに迎えていただきたいと思います。

イベント概要

プログラム1：開園前の特別入園チケットを販売します

通常は9：00からの開園のところ、**8：00から入園できる**特別チケットを1日**50名限定**で販売します。桜の開花時期は例年開園前から行列ができるほどの人気ですが、混雑を避けて存分に桜の絶景撮影など楽しむことができます。※園内の各施設は通常どおりの営業時間です

開催：3月27日（土）～4月4日（日）

料金：ひとり3,000円（税込）

予約：必要 オンラインでの事前購入が必要 1日50枚限定

URL：3/27～3/31 入園分：<https://sankeien-sakura-01.peatix.com>

4/1～4/4 入園分：<https://sankeien-sakura-02.peatix.com>

プログラム2：閉園時間を1時間延長します

通常は17：00閉園のところ、期間中は**18：00までに延長**します（最終入園時刻17：30）。これにより平日のお仕事帰りにも立ち寄りやすくなるなど、来園時間を分散し混雑を回避する狙いがあります。「観桜の夕べ」を開催していた際は、閉園間際はライトアップの明かりがまぶしく夕焼けと桜の景色が楽しめないとの声もありましたが、今年は夕暮れと桜の織りなす風情も堪能していただけます。

開催：3月27日（土）～4月4日（日）

料金：通常の入園料金と同じ

予約：不要

プログラム3：ニューグランド特製のケーキセットを鶴翔閣でご提供します



普段は特別な時にしか立ち入ることのできない古建築「鶴翔閣」（原三溪の旧宅・横浜市指定有形文化財）にて、横浜山下町のクラシックホテル「ホテルニューグランド」が三溪園のために考案したオリジナルケーキ「抹茶とフランボワのムース」をご提供します。平日だけの提供なので、混雑しやすい週末を避け、比較的空いている平日への来園を促す狙いがあります。桜を眺めるだけでなく、三溪園を広く使って楽しんでいただけます。（※数に限りがあります）

開催：3月23日（火）～3月26日（金）、3月29日（月）～4月2日（金）

時間：11:00～16:00（ラストオーダー15:30）

料金：2,500円（税サ込・別途入園料が必要です）

予約：不要

感染対策1：前売り券のオンライン販売を開始します

例年、桜の時期は開園前から券売所に行列ができるなど混雑が予想されます。そこで今年から、オンラインチケット販売サービス「アソビュー」にて入園券の前売り販売を開始します。入園時はスマートホンを提示するだけで入園でき、チケット購入で並んだりお金やカードの出し入れをしたりすることなく、スムーズに入園いただけます。3月16日販売開始予定。三溪園公式HPよりおすすめください。

感染対策2：「イオン本牧店」にて前売り券の販売を開始します

三溪園から徒歩約15分にある「イオン本牧店」3階サービスカウンターにて前売りチケットの販売を開始します。お買い物のついでに、事前にチケットを購入しておくことで、行列を避けスムーズに入園でき、お得な100円引きとなります。（購入当日の入園はできません。来園日の前日までに購入が必要です。）

販売開始：3月中旬ごろを予定

イオン本牧店

住所：神奈川県横浜市中区本牧原7-1 3階サービスカウンター

電話：045-624-2121

感染対策3：臨時駐車場を設置します

混雑が予想される土日は、渋滞緩和のため、また感染対策のため、自家用車での来園がしやすくなるよう、三溪園の南門に隣接している本牧市民公園のプール跡地を臨時駐車場として設けます。

開催：3月20日（土）21日（日）、27日（土）28日（日）、4月3日（土）4日（日）

料金：乗用車 1日 1000円

予約：不要

その他の感染症対策について

三溪園スタッフの対策としては以下の対策をおこなっています

- ・スタッフは、マスクおよび手袋の着用や手指の消毒
- ・窓口での透明フィルムの設置。
- ・カード・現金および入園券のトレイでの受け渡し。
- ・窓口などお客様が利用される設備などの消毒や清掃の徹底。
- ・窓口への手指消毒液の設置およびトイレ・手洗い場への石鹸の設置。

ご来園のお客様へは以下の対策をお願いしています

- ・マスクの着用、咳エチケットの徹底、手洗い、手指消毒の徹底、2メートルほどの間隔の確保と近い距離での会話の自粛にご協力・ご配慮をお願いしています。
- ・ご入園前に検温を行い37.5℃以上の発熱がある場合や体調不良の場合は入園をご遠慮いただいています。
- ・感染が拡大している国・地域への過去2週間以内の訪問歴がある方には入園の自粛をお願いします。

※本記者発表に記載の内容は、新型コロナウイルス感染の拡大状況や緊急事態宣言の動向によっては、予告なく変更や中止になる場合があります。



三溪園と原三溪について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家で茶人の 原三溪（1868～1939）によってつくられた、庭園・建築・美術が一体となった日本でも類を見ない近代日本庭園です。175,000㎡に及ぶ園内には、歴史的に価値の高い建造物が移築され、約20年をかけて三溪自らの構想により巧みに配置されました。古建築17棟のうち、10棟が重要文化財、3棟が横浜市指定有形文化財の指定を受けているほか、また2007（平成19）年には庭園全域が国の名勝に指定されました。1906（明治39）年5月から園内を市民に無料開放されるなど、当初から市民の憩いの場となっています。

三溪は、実業家のほかに芸術家、美術収集家としても知られ、若手芸術家の支援・育成をおこなっていました。

「三溪記念館」には現在も貴重なゆかりの美術品が残されています。また2021年4月放送開始の大河ドラマで取り上げられる渋沢栄一（1840～1931）と交流をもった記録もあります。一方で、関東大震災後は横浜市復興会長に就任し、荒廃した横浜の復興にも尽力しました。

施設概要

- 施設名 三溪園（さんけいえん）
- 運営 公益財団法人三溪園保勝会
- 所在地 〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
- 連絡先 TEL 045-621-0635 FAX 045-621-6343
- 公式HP <https://www.sankeien.or.jp>
- 公式SNS Instagram @sankeien_garden
- 入園料 大人700円 小中学生200円 横浜市内在住の65歳以上200円（濱ともカードの提示が必要）
- 開園時間 9:00～17:00（最終入園16:30）
- 交通アクセス
JR根岸線根岸駅から市営バスで10分 「本牧」下車、徒歩10分
横浜駅東口から市営バスで35分 「三溪園入口」下車、徒歩5分

本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当：岩本

TEL：045-621-0635 / FAX：045-621-6343 / iwamoto@sankeien.or.jp